



号外  
2017.03月号  
民進党 民進プレス編集部  
〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話 03-3595-9988(代表)  
メール press@minshin.or.jp  
URL https://www.minshin.or.jp/



【連絡先】  
民進党参議院比例区第37総支部  
参議院議員 大島九州男

□東京都千代田区永田町 2-1-1  
参議院議員会館910号室  
電話 03-6550-0910



福岡県直方市感田 1466-3  
電話 0949-28-8162



2011.3月  
震災当時

大島九州男

あの震災から6年が経ちます。時の経過とともに、日常を取り戻すことができていても多い反面、まだまだ困難な状況の中、復興への長い道のりを覚悟しながらも、必死にがんばっている人がたくさんいます。  
私、大島九州男は、参議院東日本大震災復興特別委員会・理事および民進党「次の内閣」ネクスト復興副大臣として、現状の意見等を現場で直接聴いて政府の「復興基本計画」等を現状の実態に合わせて手直しをする必要性を感じました。

わたしたちに、できる事

3.11

視察

参議院東日本大震災復興特別委員会の理事として、2月20日、21日の2日間、岩手県において、東日本大震災の被災地における復旧・復興状況等の実情を調査してまいりました。

宮古市魚市場



宮古市魚市場は津波により全壊する甚大な被害を受けながら、その翌日には市場業務を再開するなど、地域の復興に多大な貢献を果たしてきました。荷捌き場所不足を解消するため、現在拡張工事が実施されています。岩手県漁業協同組合連合会の会長など現場の方々と、水産加工業における人手不足・材料不足の状況等について意見交換しました。

県立山田病院

山田病院は震災の翌日から外来診療を再開し、平成23年7月には仮設診療所を設け診療を継続するなど、地域医療の維持・確保に大きく貢献してきました。平成28年9月より、新病院での入院及び外来診療を開始しております。病院長など現場の方々と、常勤医師・当直医や医療スタッフの確保が重要な課題にある等について意見交換しました。

町立大槌学園



被災した町内の小・中学校を統合し、小中一貫教育校として新たに開校したものであり、平成28年9月に新校舎が完成しております。新校舎は町産木材をふんだんに利用し、災害緊急時における学校機能の継続性と避難所機能の充実に配慮した設計が行われ、コミュニティ・スクールとしての機能の交流スペースが設けられていました。また、町長から、復旧・復興のための財政支援の継続と財源確保、防災集団移転促進事業の移転元の活用等六項目にわたる要望書が渡されました。



二本松北小学校の下層視察



校庭下層にある汚染土壌を掘り起こして、双葉町の中間貯蔵施設予定地内の保管場所へ輸送する作業を視察し、市役所の担当者から説明を聞きました。

二本松・本宮両市議会議員および市民との意見交換

市議会議員との意見交換では、風評被害について、実態調査が行われて風評被害が消費者のレベルでなく途中の流通業者の問題であることなどが分かるのではないかと指摘や、自主避難について、二本松市として600人全員に聞き取り調査を実施して2年の時間をかけてソフトランディングで帰還に結びつけたという話もありました。市民との意見交換会では、参加者から福島第2原発の廃炉、山林の除染、農業用ため池の除染、子どもたちの甲状腺・白血病の実態調査、若者の人口流出、風評被害への対処等の様々な要望が出されました。

政策

福島復興再生特別措置法の改正案

特定復興再生拠点区域について

2月10日、民進党復興部門合同会議において、国会提出された「福島復興再生特別措置法の一部を改正する法律案」について復興庁から説明を受けました。帰還困難地域の復興・再生を推進するため、帰還困難地域内に、避難指示を解除し、帰還者等の居住を可能とすることを目指す区域（特定復興再生拠点区域）を定めるとしています。

大島九州男は、町作りの理念として子どもたちの未来のため永続的に居住していただけることが大事と考え、もともと帰還困難区域は「将来にわたって居住を制限することを原則として区域」として設定されたものだから、子どもが安心して戻れる区域設定ができるのか等の疑問を呈しました。未来に責任ある町作りの理念に沿う形でできるのか、注視して活動していきます。



視察

決算委員会の筆頭理事として  
宮崎県・鹿児島県・熊本県へ視察

参議院決算委員会の筆頭理事として、2月16日、17日の2日間、宮崎県・鹿児島県・熊本県において、国会財政の経理及び国有財産の管理に関する実情を調査してまいりました。



航空大学の視察

宮崎市にある独立行政法人航空大学は、我が国唯一の公的な操縦士養成機関です。増大する航空需要に対応するため、平成30年から学生定員を拡大します。

三反園鹿児島県知事と意見交換

県庁を訪問し、今後の県政ビジョン、雇用の創出、地域活性化の具体策等について意見交換しました。その後、24時間体制で桜島等の観測している気象庁鹿児島地方気象台を視察し、専門職員の配置状況等について意見交換しました。



続いて、平成28年4月に発生した熊本地震によって、九州新幹線の脱線、豊肥線沿線の斜面崩落などの甚大な被害から、復旧に努めているJR九州鹿児島支社を視察しました。

川内原子力発電所の視察



薩摩川内市の九州電力川内原発は、国内で稼働している2カ所の原発のうちの一つで、現在、緊急時対策棟などに建設が進められています。熊本地震が発生し、原発の安全対策を早急に対応すべき重要課題で、地元市長も参加していただき、活発な意見交換が行われました。

九州電力は、東日本大震災以降、原発の安全対策に四千億円を超える費用を投じ、今後も維持管理に多額に費用が見込まれます。

熊本城・益城町の視察

熊本地震により、多くの石垣や漆喰の崩落、各種建造物の倒壊など、甚大な被害が生じています。復旧には20年という長い期間と多額の費用が見込まれています。

熊本地震で最大震度7を観測した益城町は、多くの尊い人命が失われ、一万二百八棟の家屋の被災など甚大な被害でした。県内最大規模の仮設住宅であるテクノ仮設団地を視察し、入居者の方々等と意見交換しました。



議連

理振議連を開催  
学習指導要領の改訂について

2月27日、理数・科学技術教育推進議員連盟を開催しました。文部科学省が、幼稚園教育要領、小・中学校学習指導要領等の改訂について、パブリック・コメントを実施していた時期であり、文部科学省から意見聴取し、関係団体及び議員の皆様と意見交換を行いました。



今回の改訂において、主な改善事項に、理数教育の充実、外国語教育の充実、プログラミング教育を含む情報活用能力があり、理科教育振興、学習塾など、多くの関係団体の皆様にご参加いただき、活発な議論がなされました。

活動

塾関係者のセミナー

2月8日、大手学習塾主催の民間教育経営者のための経営開発クラブのエイズウイングのセミナーに参加させていただきました。ご挨拶もさせていただきました。



国会見学・フライタルライアンスの皆様

2月8日、フライタル関連異業種の方々が加盟する一般社団法人フライタルライアンスの皆様が、国会事務所に来られ、国会見学等されました。また、記念に、クリスタルガラスの時計を作ってくださいました。



テニス日本リーグ観戦

2月10日、実業団チーム戦の第31回テニス日本リーグを観戦させていただきました。大島九州男は、学生時代は



選手及びコーチとして、社会人になってからはテニス教室を開き指導する等、テニスとずっと関わらせていただいています。主催者や運営の関係者の皆様と、意見交換もさせていただきました。

雄飛会の会報誌 年頭あいさつ

学校法人日本航空学園の雄飛会連合会会長として、会報誌に年頭のご挨拶を掲載させていただきました。

雄飛会は、学生、生徒を親の立場で支える保護者の会です。

